

第1回 仙台市水道事業経営検討委員会 議事録

- 1 日 時 令和2年11月10日(火)10:00～10:50
- 2 場 所 仙台市水道局本庁舎2階 大会議室
- 3 出席委員 太田正委員長、西村修副委員長、有働恵子委員、宇野二朗委員、
佐藤万里子委員、久田真委員、若狭久美子委員
- 4 事務局 水道事業管理者、次長、次長、参事兼水道危機管理室長、総務部長、
給水部長、浄水部長、総務部総務課長、総務部経営企画課長、
給水部参事兼計画課長、浄水部施設課長
- 5 次 第
 - (1)開会
 - (2)委嘱状交付
 - (3)水道事業管理者挨拶
 - (4)委員自己紹介及び水道局出席者紹介【資料1】
 - (5)委員長及び副委員長の選出【資料2】
 - (6)議事
 - ①委員会の運営について【資料3】
 - ②計画の進捗管理について
 - ・【資料4-1】経営検討委員会の位置づけと今後のスケジュールについて
 - ・【資料4-2】実績評価シート
 - ・【資料4-3】仙台市水道事業中期経営計画 令和〇年度 実績評価について（記載例）
 - (7)その他
 - (8)閉会

(冒頭)

○司会（西澤経営企画係長）

今回の委員会開催にあたりましては、コロナ対策として入り口での検温や手の消毒、換気等を行っております。また、複数人で使用するマイクにつきましては、毎回消毒を行いますので、よろしくお願いいたします。

(1)開会

(2)委嘱状交付

- ・芳賀水道事業管理者より各委員に委嘱状を交付

(3)水道事業管理者挨拶

○芳賀水道事業管理者

今年4月より水道事業管理者に就任いたしました芳賀洋一と申します。よろしくお願いいたします。改めまして、本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいま委嘱状の交付をさせていただきました本日出席の委員の皆様のうち、6名の委員におかれましては、一昨年度から昨年度にかけて、仙台市水道事業基本計画の策定にいろいろとご支援をいただいたところでございます。おかげさまでこの4月より、無事計画がスタートしております。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。また、今回新たに横浜市立大学の宇野先生にご参加をいただいております。水道事業の経営分野等にご精通された先生でございます。宇野先生どうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶にあたりまして、冒頭まず、新型コロナウイルスの影響に関しまして簡単にご説明をさせていただきます。まず配水量の関係ですけれども、やはり今年の3月半ば位から落ち込みが見られており、ステイホームあるいはテレワークといった事情も影響しているかと存じますが、生活用の配水量につきましては、前年度比で増えておりますけれども、事業用の配水量、特に旅館やホテル、百貨店や事業所、大学関係等につきましては、前年度比で、下がっている状況でございます。私どもの収入には影響が出ているところがございます。

その一方で、配管の工事や施設の更新等につきましては、現場にてしっかり対策を取って

いただきまして、今のところは順調に発注が進んでいるところでございます。それから市民協働の参画事業、例えば親子探検ツアー等々につきましては、やはり感染防止という観点から、基本的には残念ながら中止とさせていただいております。一部事業を実施する場合でも、規模を縮小する等して感染対策をしっかり行い、実施しているという状況でございます。最後に広報関係でございますが、手洗い・うがいが予防に大切だということもございまして、私どものホームページでも特設のページを設けたことや、ポスターですとかあるいは私どもが持っている広報紙、それから公用車に貼るようなマグネット形式のもの等も作りまして、感染防止の啓発等に努めているという状況でございます。いずれにしましても、私ども水道事業者と致しましては、使用者の皆様には安全で安心な水を安定的に供給するということの大切さを、職員一同改めて実感しているところでございまして、より一層強い使命感を持ち、中々いつ収束するかわからない状況ではございますが、しっかりと事業を進めていきたいと考えております。

さて、水道事業における経営環境が厳しくなる中でも持続的に事業を進めていくためには、先ほどお話をさせていただきました水道事業基本計画に掲載されているそれぞれの項目につきまして、着実に実施し、私どもが目指す将来像に向け事業を進めていくことが大切であると考えております。事業を進めていく上では、客観性や透明性を高めた上でしっかりと検証し、必要に応じた修正等を行い、効果的・効率的に事業を進めていくことが大切と考えております。そしてまた使用者に対する説明責任もしっかりと果たしていくということが大事であると考えており、そのようなことから今回、この委員会を立ち上げさせていただきました。

委員の皆様におかれましては、ご自身の専門分野のみならず、幅広い見地から私どもにご意見をいただきたいと存じます。私どもも職員一丸となってしっかりと事業を進めていきたいと考えておりますので、なお一層のお力添えをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(4) 委員自己紹介及び水道局出席者紹介（資料1）

- ・各委員自己紹介
- ・水道局出席者紹介

(5) 委員長及び副委員長の選出（資料2）

- ・ 仙台市水道事業経営検討委員会設置要綱第5条第2項に基づき、委員長には太田正委員、副委員長には西村修委員が選出された。
- ・ 太田委員長、西村副委員長よりご挨拶。

○太田正委員長

ただいま委員長を仰せつかりました、太田でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

先ほど、芳賀管理者より仙台市水道事業を巡ってのご案内がございましたが、その中で特に今日コロナ禍ということで、従来とは違った様変わりした環境の中で、この委員会を迎えることとなっております。また、アメリカでは大統領選挙が終わりまして、まだ確定とはなっていないようにございますが、新しくバイデン氏が新大統領に選ばれるということがほぼ確実だということでございます。その中でバイデン氏が特に第一に進めていくと仰っているのが「コロナ対策」でございます。そういう点では世界共通、どこでもこのコロナにどう向き合うかということが、第一にも第二にも差し迫った課題となっているということだと思いません。

私たちは、改めてこのコロナ禍を経験し、公衆衛生の重要性ということを感じた訳ですけども、翻ってみれば、水道・下水道はまさに公衆衛生の切り札として歴史上登場したということに、思いを馳せなければいけないという風に考えております。先ほど芳賀管理者のお話にもありましたが、1年365日24時間、絶えることなく安全安定的な水の供給を行うというまさにそういう意味では、日常生活の中で最も大切な事業として「エッセンシャルファシリティ」としての水道事業、そしてそれを担う水道事業を支えている方々というのは、まさにエッセンシャルファシリティを支える「エッセンシャルワーカー」として位置付けられているのだらうと思えます。そういう意味では、そうした重要な事業を是非絶やすことなく、しっかりと後世に適切に伝えていき、また基本計画を着実に遂行していくという使命を持って、本委員会を運営してまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○西村副委員長

太田委員長にご指名をいただきました。微力ではございますが全力で事に当たらせていただきたいと思います。副委員長として、皆様の活発なご意見を頂戴できるよう運営に協力し努力させていただきたいと思います。

太田委員長も仰られておりましたが、今回のコロナの問題等、発生してから大変なことになったなど改めて感じております。これを機に社会が変わるといふ風にも言われております。また、以前から気候変動や災害の多発等、水道を巡っての懸念事項というものは様々ございまして、これから長期的にも非常に大きな問題が続くと思っておりますし、当然のことながら少子高齢化等いわゆる仙台市の水道を運営していくにあたって、非常に厳しい将来の環境というのが待っているのではないかと考えざるを得ない状況でございます。このような状況下で、何があっても水道は持続させなければいけない、そういう運営をしていくというのは極めて難しい問題と思っておりますが、しかしながら公衆衛生の「いの一番」は水道でございますので、これが持続しない社会というものは、極めて深刻な社会になっている可能性がございます。是非何かしらの貢献をしながら、仙台市あるいは東北なり日本の水道の持続可能性に貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(6) 議事

○司会（西澤経営企画係長）

それでは、次第の6番、議事に移りたいと思います。

太田委員長、これ以降の議事の進行をよろしくお願いいたします。

○太田正委員長

それではこれより、議事に入らせていただきたいと思います。

①委員会の運営について

○太田正委員長

まず一つ目の議事と致しまして、「委員会の運営について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。

○吉田経営企画課長

事務局から資料3に基づき説明。

○太田正委員長

ありがとうございました。それではただいまの事務局からのご説明につきまして、ご意見あるいはご質問があればお願いしたいと存じます。

○一同同意

○太田正委員長

よろしいですか。それではこのような取組で運営をさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。ありがとうございました。

②計画の進捗管理について（資料4-1、4-2、4-3）

○太田正委員長

次に2つ目の議事に移らせていただきます。計画の進捗管理につきまして、事務局からご説明いただきたいと思います。

○吉田経営企画課長

・事務局から資料4-1、4-2、4-3に基づき説明。

○太田正委員長

ありがとうございました。それではただいまの事務局からのご説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○宇野二郎委員

資料4-3の8ページ、9ページのまとめ方についてです。恐らくここで評価されるのは、プランを実施した後に、それがしっかり行えたのか、行えなかったのかということだと思います。このプランを拝見させていただきますと、それに加えてこのようなリスクがあるのか、これからこういうことが問題になるのではないのか、ということも書かれていると思いますので、今後このような取組をするということだけではなく、そういう想定していたリスクがどの程度顕在化しているのか、あるいはそれは今のところ問題ではないのか、というような視点で何か記述をしていただくと良いのではないかと思います。例えば、耐震化が遅れていて耐震のリスクが高まっているのか高まっていないのか、といったことが判断できるので、そうした記述もあってほしいと思いました。

○太田正委員長

貴重なご意見をありがとうございます。私の方からも申し上げておきたいのですが、この委員会ですが、前は基本計画を立てる際の検討委員会でしたが、今回の委員会は、それを受けて、宇野委員も仰ったような形で、実際にどう事業・計画を進捗させていくのか、遂行させていくのかということ、外部の皆様方のご意見も踏まえた上で、見直すところは見直ししながら進めて行くということでございます。とかく似たような仕組みとして、いわゆ

る会計監査とか業務監査という“監査”というのがございますが、そちらの方は基本的にはコンプライアンスという、法令順守というものを中心にして、そうしたことに對しチェックをするということが主たる内容だと思いますが、当委員会の使命はそれとはまた違いまして、勿論そういう部分に関わるものもあるかもしれませんが、事業をどういう風に効果的あるいは効率的に推進していくのか、そのためにどのように改善していくのか、つまり事業の改善のための検証・評価を行う役割を担っていると思います。そういった点からも、先ほどご意見がございましたようなリスク評価をどうするのか、といったようなことも含めて、是非そうした事業改善に向けた積極的なご意見を賜ればと考えておりますので、よろしく願いいたします。それでは、今ご指摘がございました、リスクに對してどういう風な観点で取り扱うのか、ということにつきまして、事務局から何かコメント等があれば今の段階で結構ですのでお願いします。

○吉田経営企画課長

ありがとうございます。リスクの話もそうですし、今後の改善に繋げるというような内容で議論をということで、ありがたいご意見をいただきました。そのためにはやはりこの報告をしっかりと書きこんでいく、なぜ出来たのか出来なかったのか、あるいは時代背景がどうなっているのか等をしっかりと分析した上で、委員の皆様にお諮りすることが肝要になってくると思っております。今回の案では、まだ事業が過ぎておりませんので、あくまで記載例ですが、来年8月末に開催する時には、その辺りを委員の皆様にご審議いただけるよう報告をまとめていきたいと思っております。

○太田正委員長

ありがとうございます。宇野委員よろしいですか。

○宇野委員

はい。一点補足しておきますと、リスクを完全に定量的に評価するというのは、非常に難しいことだと思いますので、そこまでしっかりやろうということよりも、何がリスクなのかというのを識別した上で、それについて何か情報があるのであれば、例えば、そのリスクについては今このような状況になっているということ、毎回確認するよう進めていければ良いのではないかと考えております。

○太田正委員長

貴重なご提案・ご意見ありがとうございます。それも含めて事務局の方としては受けて止

めていただきたいと思います。その他ございますでしょうか。

○久田委員

今のリスクの話からすると、計画を策定していた段階でリスクとして捉えていたことが、何かということですが、例えば施設の老朽化のリスクとか、財源のリスク、人のリスク等、先ほど宇野委員が仰っていたリスクの話は、そういう位置づけにしていたかと思います。そう考えると、やはり今回コロナの件で、冒頭に芳賀管理者のご挨拶の中にもあったとおり、利用量が増えたというところは収入に直結する部分のお話であり、そういうものもリスクとして捉えるということが必要だと思います。委員会の位置づけについては、資料4-1に書いてありますが、この委員会でやるべきことというのは、計画に掲げる将来像の実現に向かって着実に推進しているかどうか評価をする、というのがこの委員会の役目となっていますが、不測の事態で、計画を作った時にはコロナは無かった訳で、状況の変化に際して喫緊の課題として、微修正なり計画を見直すきっかけになり得るか否か、というものがしっかり検討されているかどうかということも、この委員会の評価事項の中に含めておいた方がいいのではないかと思います。やはりコロナで水を使う量が変わるとなると、収入に直結する話になりますから、要するに、それをしっかり受け止めて事業を展開すべきか、それとも飲み込めるのかというのはよく考えていった方が良くと思います。

○太田委員長

ありがとうございます。ただいまのご指摘も大変貴重なご意見だと思います。いわゆる前回の委員会で策定した基本計画なり事業計画というものを前提にして、それがきちんとできているのかということと、それから新しい事情の変化や状況の変化を受け、その計画自体をどう見直していくのかというようなことで、ポジションが違って来るかもしれないということだと思います。その辺も重要なご指摘だと思いますが、事務局から何かコメントがあればお願いします。

○高島総務部長

大変貴重なご意見をいただきました。確かに計画を策定した3月段階では、まだ本市でも1~2名程度のコロナの発生状況ということでした。計画を推進していくにあたって、将来像に向け着実に進んでいるか、機能しているかということと、今回のコロナもそうですが、事業を取り巻く環境が大きく変化する中では、それに適合した施策の在り方と申しますか、その辺もやはり逐次見直しをしていかなければならないと思っておりますし、この検討委員

会の前段としてまずは内部評価を致しますけれども、その段階において、果たしてこの施策の位置づけあるいは施策の力の入れ所といたしますか、重点的な取組の中身が変わってくる可能性もありますし、場合によってはいろいろな施策の追加ですとかそういうことも出てくることもあるかもしれません。そういった視点からもご意見を頂戴したいと考えております。

○太田正委員長

ありがとうございます。久田委員よろしいですか。

○久田委員

はい。

○太田正委員長

その他ございますでしょうか。なければ今回は初回ということもございますので、今後実際にこの委員会を進めていく中で、あるいは具体的な事業の進捗を図りながら、実際の評価・検証を進めていく中で、様々なご議論をいただく機会があろうかと思っておりますので、何か言い残したことがあるという方がいらっしゃればお願いしたいと思っておりますが、なければここまで致しますけれどもよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは先ほど貴重なご指摘・ご意見をいただきましたので、それを踏まえまして今回ご提案いただいた内容につきましては、確認させていただいたということにさせていただきます。ありがとうございました。

以上を持ちまして、本日の議事を終了させていただくこととなりますが、議事①に先ほどご案内がありましたけれども、今回の議事録にご署名をいただく委員と致しましては、有働委員にお願いすることとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○有働委員

わかりました。

○太田正委員長

それでは事務局の方にお返し致します。

(7) その他

- ・議事事項なし。

(8) 閉会

○司会（西澤経営企画係長）

本委員会につきましては、今年度以降毎年開催することとしておりまして、来年度からは8月末頃の定期開催を予定しております。

それでは、これにて第1回仙台市水道事業経営検討委員会を終了いたします。

委員の皆様、ありがとうございました。